

成功体験

	①	②	③	④
成功体験	大学1年生よりバンド活動を始める。理工学部には軽音楽サークルが無く、学内で練習する場が無い。 だったら作ればいい。 2年生になり、部員を集め、顧問を探し、依頼し、サークルを発足させた。 3年次より、本格的に部員を集め、毎週2日練習場所を学内に確保し、合宿、コンサートなどのイベントを企画した。			
なぜ、やろうと思ったのか	理工学部には音楽サークルが無く、学内で練習する場が無かったため。 多くの仲間とコンサートを自前で行いたかったため。 先輩に引き継ぐ何かを成し遂げたいと思ったため。			
どんな方法を考えたのか	顧問を探し、見つけ、サークルとして申請し、教室を練習の場にする。			
最初にどんな行動をとったのか	顧問の先生を探す。	何回も顧問になってもらいたく、研究室を訪問する。	誠意が通じ、顧問の承諾をいただく。	
どんな困難があったのか	顧問になってもらうための教授への説得。	全く機材がない。	練習の場としての位置付け ⇒仲間と一緒にやり遂げる場へ意識の变革	部員が言う事を聞かない。
困難乗り越えるための工夫は？	誠意をもってお願いした。	最初に集まった部員から機材の提供と自分で購入した機材を寄付した。	最初にバラバラで、練習の時間に来て、適当に変える部員が多く、同じ目標が必要と感じた。 コンサートという目標。	部長時、60名まで大きくなった部員に決まりを課した。また、バンドリーダーとコミュニケーションを取り、人間関係の絆で乗り切った。
人を巻き込んだか？	先輩にも同行してもらった。	機材を寄付してもらうために、自分でベースギターアンプを購入し、寄付した。率先垂範。	先にコンサート会場を予約、期日を決め、全バンドに目標を持たせた。協力して成功させるため、練習日はセッティングから後片付けまで参加をしてもらった。	規律よりも、人間関係による統率に専念した。
結果は？	顧問になってもらった。	ドラム、ギターアンプ、ベースアンプ、キーボードなど最低限の機材が集まった。	コンサート、学園祭という目標からメンバーの絆が深まった。	練習、コンサート、合宿など問題も無く運営できている。
どんな能力を発揮したか？	正直、誠実、真摯な態度 粘り強い説得	率先垂範、熱意、説得、行動力	目標を持たせる。 粘り強いコミュニケーション 企画力 計画性	人間関係構築 リーダーシップ
学びは何か？	人を動かすためには、自分自身の「誠実さ、正直、真摯さ」などを発揮する必要があること。 何事にも、リーダーが率先しておこなうこと。 誰かがやるのを待っているのではなく、自分が行うこと。 常にメンバーを楽しませること。			